

はじめまして。森あかねと申します。現在 23 歳です。  
 今日はこの場に来られない沢山の被害者を代表してお話させていただくことに感謝いたします。



私が子宮頸がんワクチンを接種したのは、今から 9 年前の中学 2 年生、14 歳の時でした。

私は、もともと運動が大好きで 3 歳から体操教室に通い、器械体操が得意な活発な子だったと母は言います。風邪などで欠席することもほとんどありませんでした。

また、読書が好きで学校の図書館の本を読破したりするほどでした。

中学 2 年の冬に 1 回目を打った直後くらいから、酷い頭痛に悩まされ、耐えかねてよく失神しました。

その後直ぐに、腰や肘、膝、指など、全身のありとあらゆる関節が痛み出しました。

趣味のピアノが痛みで弾けなくなり、それどころか 200ml の牛乳の紙パックも持つのが大変になりました。

歩く時も、足を引きずるようになり、階段の上り下りが大変で、意識が遠のくほどでした。手足に、ひどい痺れや、震えが出てきて文字を書く事もままならないほどでした。また、この頃から記憶障害や視力障害、聴力障害がだんだんと出始めました。

2 回目の接種を行なった後には、左半身の痙攣が起こりました。

大学病院などで様々な検査を受けましたが、医師には特に心配ないといわれたので気にしないでいようと思いました。

しかし、その頃には、自分の苗字だけでなく名前や、自分の生年月日や、好きな物を思い出せないようなことが増えてゆき、同じ単語を 1000 回書いても覚えられないというように記憶障害が酷くなっていました。

そして、何の前触れもなく急に失神するような事も増えました。

これらの体調不良を医師に相談しましたが、ワクチンとは無関係でしょうと説明を受け三度目の接種を受けてしまいました。

高校生になると、さらに痛みは増すようになり、味覚、聴覚、視覚障害なども酷くなりました。

痙攣も酷くなり大人 2 人がかりで抑えても抑えきれないほどでした。

52kg あった体重が 37kg にまで減少しました。

数ヶ月おきに不眠と過眠を繰り返すようになりました。

大好きだった小説だけでなく、文字自体を認識できなくなってしまい、外国語を見ているような気分でした。

膝の関節痛が歩行困難になる程悪化し、この時の痛みは「切断してしまったほうがマシと思う」と思うほどの痛みでした。

記憶障害も更に悪化し、1 年間通い慣れた学校への道が、ある朝突然わからなくなったり、1 時間程前の出来事や自分の名前や誕生日も思い出せず、一番ひどいときには、母や家族、自分の家までわからなくなったりしました。

全身に及び関節痛、筋肉痛などの症状が悪化して、布団から起き上がることはおろか、寝返りさえ痛みでままならない状態が続きました。

学校は大好きだったので、車いすを利用してなんとか通いましたが、痛みや疲労などで失神してしまい、保健室で過ごすことが多かったです。

その後、「HPVワクチン関連、高次脳機能障害」と診断され、そして、脳炎と脳の萎縮などが見つかри、脳の炎症を抑える治療を行い少し改善しましたが、未だに症状は、日によって、強い日や弱い日など波があります。

痛みや痺れ震えなどは相変わらずあり、左半身は麻痺が残りうまく動かせません。痙攣や、失神も相変わらずあります。

現在は、文字は認識できるようになり、記憶障害も以前よりは改善したために、このように文章も書けるようになりました。しかし、この原稿は 5 回失神しながらなんとか書き上げたというのが実際です。

時には息をするだけで胸が痛み、1 歩歩くだけでも全身に痛みが走り、1 日にめまいは何度となく襲ってきます。

痙攣や脱力は何の前触れもなく起こるので家でも不安がつきまとい、半日起きていられたら丸々 2 日痛みや諸々の症状で寝込んでしまうような日々が続いています。

これまでに様々な治療をしてきましたが、脳に炎症が出ればそれを抑える。

痛ければ痛み止めを飲む。といった対症療法で、根本的な治療方法は見つかっていません。

また、診てもらえる病院が少なく困っています。

私が実際に経験した話で言うと、痛みや生理不順で 2 年近く診てくれていた産婦人科の先生に、

子宮頸がんワクチンの副反応だと診断されたと話したら「うちではもう診れません。」と、急に診療を断られました。

その他にも、ある時から右目の視力がどんどん落ちていき全く見えなくなってしまったので、眼科を受診してワクチンの話をすると「いやいや、ワクチンの副反応？聞いたことない、ありえない。演技なんじゃないの？何か嫌なことでもあったんじゃないの？」などと、ろくに検査もせずに、声を出して笑いながらバカにされました。

その後、同じ病院の違う先生に診てもらうことになり、検査の結果「酷い緑内障の人と同じレベルの視神経炎であり、これは失明していて、もう見えるようになることはない」と言われました。

私は、このワクチンを受けて失った物が沢山あります。

高校にももっとちゃんと通いたかったし、大学に進学したかったです。友人と出かけたり、好きなこと、10代20代だからできることをもっともったかったです。

学校も学校行事もまともに参加できませんでした。

現在私は23歳です。友人もほとんどの子が就職をしています。

体調が悪いとはいえ、皆が頑張っている中、私は家でじっとしてはならないことに罪悪感を覚えます。

自分のせいで家族に迷惑をかけている。私は何もできない人間だ。そんなことを思うってしまう日があります。

「新しい服を買ったら？」と聞かれても何もしていない私がそんなことをしていいのか？若い女の子っぽく、タピオカ！スタバ！カフェ！、、、私なんか楽しんでいいのか？そんなことを思っただけになってしまうことが多々あります。

ワクチンの話を友人や、知人にしても

「え？なにそれ、結局サボっているんじゃないの？ニートは楽でいいね」

「前テレビで精神的なものって言ってたけど？」

「ネットで調べてみたら、嘘だって書いてあったよ？」

そんなことを言われたことが何回もあったからです。

勇気を出して話してもこのように誤解される。わかってもらえない。この事が本当に辛いのです。

病院で何でもないと言われれば友人だけでなく、家族ですら私の言うことは本当なのか？と疑い始めます。

この、「信じてもらえない」という事がどれだけ辛かったかと言うと、

眼科医に「あなたの右目は失明していて、今後見えるようになることはないでしょう」と診断を受けたとき、心の底から嬉しくてたまらなかつたくらいです。

「この診断のおかげで、もう嘘つき呼ばわりされない！皆にわかってもらえる！指を刺され

て頭がおかしいと笑われることもなくなる！」そう思い心から嬉しくてたまらなかったほどです。

娘の右目がもう一生見えないとわかり号泣する母の横で

その眼科医に、私の眼痛も私の目が見えないことも、嘘でないと証明してくれてありがとうございます！

と心から御礼をしました。

それぐらい分かってもらえない、信じてもらえない。このことが私を追い詰めていたのです。

子宮頸がんワクチンを打った結果、私は健康を失い、見た目では分かりづらい沢山の障害と症状を抱え、手テレビやネットでは嘘つき扱いされています。先ほど、生活の実態調査報告でもあったように、根本的な治療法も現在ありません。また対症療法は受けても効果を得られない人も多くそもそも受けることすらできない被害者もいます。

私のように苦しむ人をこれ以上増やしたくないと心から思います。そのために多くの方にこの現状を知っていただきたい。これが私の願いです。

私の、私達の心の叫びが、どうか意味のあるものになることを願います。